

パイロテル-Tを用いたカイネティック比濁法 (反応時間法) (マイクロプレート法)

エンドトキシン標準溶液10倍段階希釈 3濃度 (1, 0.1, 0.01 EU/mL) および試料溶液 (10倍希釈液) を用いる標準操作法を示します。

ライセート試液と試料溶液の混液のpHが6~8であることを確認してください。

■ 必要な試薬および器具

試 薬	・ライセート試薬：パイロテル-T ・標準品：日本薬局方エンドトキシン標準品 (以下、JP-RSE) ・LAL試験用水 (以下、LRW) ・緩衝液：グルカシールドまたはパイロソル (インジケータなし)
器 具	・トキシベットサンプラー200、トキシベットサンプラー1000 ・トキシベットチップ200、トキシベットチップ1000 ・トキシベットディスペンサー用シリンジまたは同等品 (以下、シリンジ) ・トキシベットプレートLP (以下、プレート) ・乾熱滅菌試験管 (11.6×65mm、アルミキャップ付、以下、試験管) ・乾熱滅菌したアルミ箔等 (以下、アルミ箔) ・試験管ミキサー ・プレートミキサー
測定機器	・マイクロプレートリーダーEPOCH2
ソフトウェア	・ENDOMEASUREソフトウェア, Type-M

■ マイクロプレートリーダーEPOCH2を用いたカイネティック比濁法(反応時間法):設定条件

測定パラメーター

測定番号 684

測定機器番号 EPOCH2

測定者 ID skka

ミキシング時間 60 sec

ミキシング強度 10

測定温度 37 °C

測定時間 01:00:00

主波長 405 nm

対照波長 nm

試験の種類

測定濃度単位 EU/mL

計算パラメーター

モード

☒ 反応時間法 閾値 0.03
 ☐ 反応速度法
 ☐ エンドポイント法

計算範囲

00:00:00 ~ 01:00:00

標準品 種類 一次式

スケール

☒ Log(x) - Log(y)
 ☐ 実数(x) - 実数(y)

移動平均 5

スライス上部 [%] 0